

中学校第1学年【社会】

◆ 授業改善のポイント

- 単元など内容や時間のまとまりを見通した「問い」を設定し、社会的な見方・考え方を働かせることで、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習の一層の充実を図ります。
- 年表や文献、図版などの多様な資料、地図・地球儀などの活用を明確に位置付けて指導を行います。資料から考えられることをまとめたり、説明したりする学習活動を繰り返し、資料活用の技能の習熟を図ります。

◆ 今回の調査結果から明らかになった成果と課題

成果：歴史的事象の意味について、資料を読み取り考察することについては概ねできています。
 課題①：世界や日本の地理的認識を深める際の座標軸のような役割を果たす知識（大陸の位置関係等）の定着が図られていません。
 課題②：時代の特色（人々の生活や社会の様子など）についての理解が図られていません。

◆ 成果が見られた問題の概要 大問4(3)「原始時代～古墳時代」（思考・判断・表現）」

【設問の概要】

資料から考えられる大和政権（ヤマト王権）の様子について、考察しているかどうかをみます。

としきさんは、下線部㊸について、次のスライド3と解説文3を作成しました。解説文3の ㊸ にあてはまる内容として適切なものを、あとの1から4までの中から1つ選びなさい。

スライド3



平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	63.0		

正答	解答類型	反応率(%)	自校
	1と解答しているもの	10.5	
	2と解答しているもの	14.0	
	3と解答しているもの	12.2	
◎	4と解答しているもの	63.0	
	無解答	0.3	

解説文3

前方後円墳は、日本独自の古墳の形で、日本に広く分布しています。なかでも、大阪府にある大仙古墳は最大で、奈良盆地を中心に勢力をもっていた大和政権（ヤマト王権）の大王のものであると考えられています。

古墳の中に納められている副葬品を調べることで、当時のことを知ることができます。たとえば、埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣と、熊本県にある江田船山古墳から出土した鉄刀に同じ人物の名前が刻まれていました。この人物は「ワカタケル大王」といい、大和政権の大王とされています。このことから、 ㊸ と考えられています。

【選択肢】

- 1 大和政権と関東地方から九州地方までの豪族たちは、中国の王朝と貿易をしていた。
- 2 大和政権と対立する勢力が、関東地方と九州地方に存在していた。
- 3 大和政権が、関東地方と九州地方の豪族だけに前方後円墳を造ることを認めていた。
- 4 大和政権が、関東地方から九州地方までの豪族たちを従えていた。

【指導継続のポイント】

- 歴史に関わる事象の意味や意義、特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したりする学習を一層充実させます。「稲荷山古墳と江田船山古墳で出土した鉄剣に同じ人物の名前が刻まれていたことから考えられることは何か」などの問いを設けて考察する学習活動を行います。
- 歴史に関わる事象について、年表や文献、図版などの多様な資料、地図などの活用を十分に行います。

◆ 課題が見られた問題の概要① 大問1(1)「世界の地域構成」(思考・判断・表現)

【設問の概要】

六大陸の形と位置関係について考察し、特定の大陸を指摘できるかどうかをみます。

ともきさんは、地理の授業で学習した、世界と日本の地域構成の内容についてまとめています。次のノート1からノート3は、ともきさんのまとめの一部です。

ノート1

《世界の表し方》

地球儀 (=地球を縮めた模型)

《特徴》○ 地球上の距離や面積、形、方位が正しく表されている。

△ 持ち運びが不便。

△ 全体を一度に見ることができない。

◆ 実際の地球の観測画像

① さまざまな種類の世界地図が作られる。

この画像には、六つの大陸のうち、南極大陸と②大陸が、三つの海洋のうち、インド洋が示されていない。

(©JAXA)

平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	34.1		

正答	解答類型	反応率(%)	自校
◎	オーストラリア	34.1	
	オーストラリア大陸	0.2	
	上記以外の解答	64.9	
	無解答	0.8	

ノート1の中の ② にあてはまる語句を答えなさい。

【問題点】

- 六大陸の名称と形、位置関係についての理解が十分ではありません。特に、見慣れていない図法（北アメリカ大陸が中心に描かれている、日本列島が示されていない地図等）において、形や位置関係を基に、大陸を特定することができていません。

【改善点】

- 地球儀やデジタル地図を用いて、各半球における大陸の見え方を調べたり、略地図を描いてまとめたりする学習活動を十分に確保します。特に、地球儀や地図に触れる機会を重ねることを通して、生徒が球面や平面における位置や広がり等について理解を深めるようにします。
- 六大陸の名称と形、位置関係などについては、世界や日本の地理的認識を深める際の座標軸のような役割を果たす知識であることから、小学校での学習や時事的な話題等に関連付けるなど、知識の定着を図るための工夫を行います。

◆ 課題が見られた問題の概要② 大問4(1)「原始時代～古墳時代」(知識・技能)

【設問の概要】

旧石器時代から古墳時代までの人々の生活や社会の様子について理解しているかどうかをみます。

ときさんは、下線部 ㊸ について、次のスライド1と解説文1を作成しました。解説文1の ㊹, ㊺ にあてはまる数字・内容の組み合わせとして正しいものを、あとの1から6までの中から1つ選びなさい。

スライド1

クイズ! 私の生まれは何時代?

I  祭りに使われた青銅器 ↓ () 時代	II  犬をかたどった土輪 ↓ () 時代	III  炎をかたどったように見える土器 ↓ () 時代
---	---	--

(1～III 東京国立博物館蔵 ColBase 所収)

平均正答率	本県	市町村	自校
(%)	33.1		

解説文1
弥生時代中期に作られたと考えられている ㊹ は、江戸時代に讃岐国(現在の香川県)で出土したと伝えられています。㊹ が作られた弥生時代の人々は、㊺ をしていたと考えられます。

正答	解答類型	反応率(%)	自校
◎	1と解答しているもの	33.1	
	2と解答しているもの	6.8	
	3と解答しているもの	18.4	
	4と解答しているもの	9.4	
	5と解答しているもの	26.6	
	6と解答しているもの	5.5	
	無解答	0.2	

【選択肢】

- あ… I い…ムラ(集落)の周りに水田を造り、協力して稲作を行う生活
- あ… I い…ナウマンゾウなどの大型動物の狩りをしながら、移動する生活
- あ… II い…ムラ(集落)の周りに水田を造り、協力して稲作を行う生活
- あ… II い…ナウマンゾウなどの大型動物の狩りをしながら、移動する生活
- あ… III い…ムラ(集落)の周りに水田を造り、協力して稲作を行う生活
- あ… III い…ナウマンゾウなどの大型動物の狩りをしながら、移動する生活

【問題点】

- 各時代(縄文時代、弥生時代、古墳時代)の特色について、人々の生活や社会の様子等の観点から捉えることができていません。特に、日本列島における農耕の広まりと生活の変化について、時代を象徴する資料(遺物)と結び付けた理解が十分ではないと考えられます。

【改善点】

- 「本格的な稲作の広まりによって社会はどのように変化したのだろうか」などの問いを設け、時代の大きな流れに着目しながら、人々の生活や社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する学習活動の充実を図ります。
- 時代の特色を捉えるための中心的な資料として、象徴的な遺物等を取り上げ、単元全体を通して取り扱うようにします。